

「光学」投稿規定

昭和47年2月19日	制定	平成7年1月1日	改訂
平成11年1月1日	改訂	平成12年11月8日	改訂
平成15年4月1日	改訂	平成19年9月18日	改訂
平成22年4月1日	改訂	平成27年1月1日	改訂
平成29年4月1日	改訂		

「光学」は、一般社団法人日本光学会（以下、日本光学会）が発行する月刊の和文機関誌で、光科学・光技術および光学教育に関する原著論文、特集記事、講義、企画記事、その他の記事を掲載します。また、内容の一部を日本光学会ホームページに掲載します。原著論文はいつでも自由に投稿することができます。解説記事等は編集委員から執筆を依頼します。原稿の掲載可否はすべて編集委員会で審議します。

原稿は、「光学」執筆要項に従って書いてください。原著論文、特集記事には和文・英文の両要旨が必要です。英文要旨は「光学」に掲載され、和文要旨は科学技術振興機構の「科学技術文献データベース」および「科学技術文献速報」に収録されます。原稿には規定のページ数がありますので留意してください（刷り上がり1ページの字数は約2,200字です）。

1. 内 容

1.1 原著論文

1.1.1 研究論文：光科学・光技術および光学教育に係る諸分野の論文。長さは原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内。

1.1.2 研究速報：光科学・光技術および光学教育上の新しい提案、討論等で速報的内容をもつ短い論文。図・表を含めて刷り上がり4ページ以内。

1.1.3 技術報告：光科学・光技術の研究開発上、得られた装置および諸データなどに関する報告。研究実施上における経験も記すことが望ましい。原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内。

1.1.4 教育報告：光科学・光技術および関連する分野の教育上、考案された実験装置および諸データなどに関する報告。教育実践上における経験も記すことが望ましい。原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内。

1.2 特集記事

明確な視点を持って集められた複数の記事で構成されます。

1.2.1 総合報告：光科学・光技術に関する特定の分野について最近の進歩を広い視野から総合的にまとめて報告する。文献が整備されていることが望ましい。図・表を含めて刷り上がり10ページ以内。

1.2.2 解 説：光科学・光技術に関する特定の分野について最近の成果をわかりやすく解説する。基本的な文献が整備されていることが望ましい。図・表を含めて刷り上がり6ページ以内。

1.2.3 フォーカス：光科学・光技術において、最近進歩の目覚ましいあるいは注目されている1つの研究開発についてコンパクトに解説する。図・表を含めて刷り上がり3ページ以内。

1.3 講 義：光科学・光技術に関する特定の分野について体系的にわかりやすく講義する記事です。図・表を含めて刷り上がり8ページ以内。

1.4 光学ハイライト：編集委員会が注目する研究や論文、製品の紹介、チュートリアル、将来展望企画、光学会行事との連動企画、研究室や会社訪問、インタビュー、子ども向けの記事など、光科学・光技術に関わる会員相互の意見や情報の交換を目的とする記事です。図・表を含めて刷り上がり5ページ以内。

1.5 その他の記事

1.5.1 巻頭言：会員にとって指針となるような意見および見解の発表。刷り上がり1ページ以内。

1.5.2 気になる論文コーナー：光科学及び光技術調査委員会で議論された論文の紹介。各号2ページ程度。

1.5.3 日本光学会 news：日本光学会の活動状況報告および関係行事の予告等の記事。

1.5.4 その他

2. 投稿の手続き

2.1 投稿者は原稿に投稿票および著作権譲渡同意書（日本光学会のホームページからダウンロードできます）をつけ、下記の「光学」編集局に提出してください。

〒112-0002 東京都文京区小石川2-23-11

常光ビル7階（有）学術新報社内 「光学」編集局

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp

2.2 投稿票、投稿規定および執筆要項はホームページからダウンロードできます。

2.3 原著論文の掲載料は、刷り上がり1頁につき10,000円です。別刷希望の際は、原著論文・依頼原稿とも、別途定める料金となります。

2.4 他の著作物から図、表、文書の一部を転載する場合、著者の責任において必要な手続きをおとりください。また、費用が発生する場合、この費用は、原則として著者負担となります。

3. 著 作 権

2015年以降本誌に掲載された記事の著作権および著作権（公衆送信権および複製（PDF）の作製権を含む）は、日本光学会に帰属します。外部から引用の申請ならびに著作権使用の申請があったときは、日本光学会が著作権取扱規定に従って取り扱います。

4. 二重投稿の禁止

他の学会誌に掲載された内容の原稿を「光学」に投稿すること、および、「光学」に投稿中の内容を他の学会誌に投稿することはできません。さらに、英文誌または外国の雑誌に掲載された論文の和訳と見なされる場合も二重投稿と見なします。

国際学会または国際シンポジウム等のプロシーディングは、原則として国際学術誌または学会誌などと同等と見なします。したがって、言語を問わず上記のプロシーディングに掲載された論文とはほぼ同一の内容の原稿を「光学」に投稿することはできません。しかし、学会誌として認め難い出版物に掲載された簡単なアブストラクトや予稿集などの論文はこの対象と異なりますが、内容を十分に検討して改訂した論文でなければなりません。社内の報告書等に掲載された内容を含む原稿の場合は、その報告書が引用文献に示されている必要があり、さらにその報告書が公知の場合、投稿原稿には元の報告書との差異が明確に記述されていなければなりません。

日本光学会誌「光 学」

原著論文 投稿案内

(2017年4月1日改訂)

1. **投稿資格**：誰でもいつでも自由に投稿できます。
2. **掲載料**：原著論文の掲載料は、刷り上がり10,000円/ページです。別刷希望の際は、別途定める料金となります。

3. 論文の種類

- 3.1 **研究論文**：光学、光技術および光学教育に関係ある諸分野の論文。長さは原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内です。
- 3.2 **研究速報**：光学、光技術および光学教育上の新しい提案、討論等で速報的内容をもつ短い論文。図・表を含めて刷り上がり4ページ以内です。
- 3.3 **技術報告**：光学および光技術の研究開発上、得られた装置および諸データなどに関する報告。研究実施上の経験も記すことが望まれます。原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内です。
- 3.4 **教育報告**：光学および関連する分野の教育上、考案された実験装置および諸データなどに関する報告。教育実践上における経験も記すことが望まれます。原則として図・表を含めて刷り上がり8ページ以内です。

4. **原稿の書き方**：原稿の作成に関しては、「光学」執筆要項を参照してください。執筆要項は、日本光学会のホームページからダウンロードできます。原稿には、本文以外に和文・英文の両要旨、keywordsが必要です。

5. **分類番号**：論文の内容を表す分類番号を下の表から選び、投稿票に記載してください。複数の分類番号を記入しても構いません。

6. **投稿の手続き**：投稿の原稿には必ず投稿票および著作権譲渡同意書（日本光学会のホームページからダウンロードできます）をつけ、下記の「光学」編集局に郵送するとともに、PDF原稿をメールでお送りください。

〒112-0002 東京都文京区小石川2-23-11
常光ビル7階 (有)学術新報社内
「光 学」編集局
電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992
E-mail: kogaku@academic-j.co.jp

受け付けた投稿原稿は「光学」編集委員会のもとで、所定の査読を行います。

分類番号	分 類
1.	光物理（物理光学、光科学）
2.	結像素子・光学機械（光学設計・評価・材料・加工）
3.	X線光学（X線光学・素子）
4.	分光（分光法、素子、装置）
5.	レーザー（装置・応用）
6.	量子光学、非線形光学
7.	近接場光学
8.	光応用計測（幾何光学応用、物理光学応用、光ファイバー応用）
9.	干渉計測（干渉を用いた光計測、縞解析）
10.	光情報処理（画像形成、光演算、光接続、ニューラルネット）
11.	画像処理（デジタル画像処理、画像回復、画像解析）
12.	オプトエレクトロニクス・光デバイス（発光・受光・変調素子、光導波路、画像表示素子）
13.	光通信（光通信にかかわるデバイス、システム）
14.	光記録（光メモリー、感光材料）
15.	視覚光学（生理光学、心理物理、色覚）
16.	光源・測光・照明（レーザー以外の光源、測色を含む）
17.	医学・生物応用光学（システム、応用）
18.	光学教育
19.	その他

7. **著作権について**：2015年以降本誌に掲載された記事の著作権および著作権（公衆送信権および複製（PDF）の作製権を含む）は日本光学会に帰属します。外部から引用の申請ならびに著作権使用の申請があったときは、日本光学会が著作権規定に従って取り扱います。

8. **二重投稿について**：他の学会誌に掲載された内容の原稿は、「光学」に投稿することはできません。また、英文誌または外国の雑誌に掲載された内容を単に和訳したと見なされる論文も二重投稿となります。詳しくは、投稿規定をご覧ください。